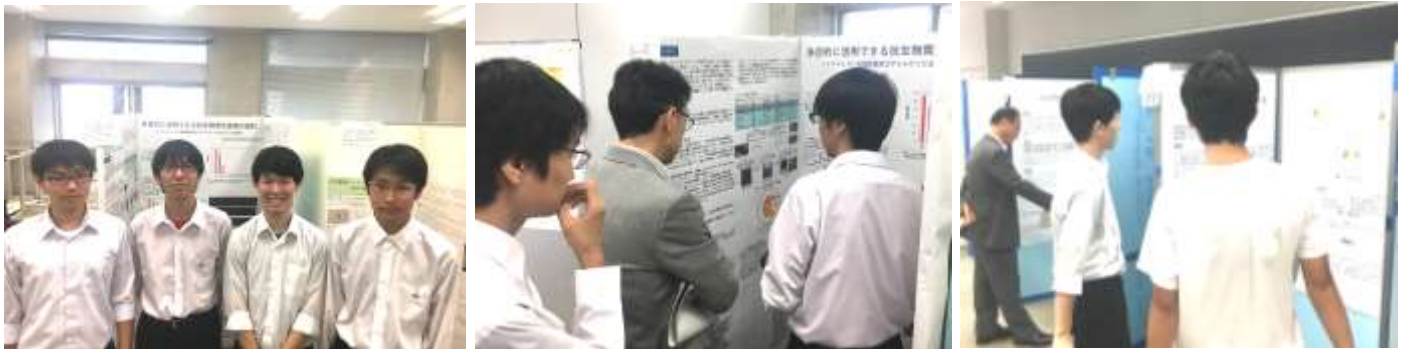


科学展(西部地区展)



9月29日(土)、30日(日)に東洋大学川越キャンパスで理科振興展覧会(科学展)西部地区展がおこなわれ、西部地区11校から30点の出品(内2点は展示のみ)がありました。松高からは生物部・化学部・地学部が参加しました。各部の研究タイトルは以下のとおりです。

生物部「多目的に活用できる抗生物質生産菌の選別」

化学部「振動反応における配位子の代替」

「水素検知シートの作成」

地学部「遠くの山はなぜ青く見える」

西部地区全体で7点が中央展(県展)に推薦されます。審査の結果、化学部2点の研究が優良賞、生物部、地学部の研究が優秀賞となり、優秀賞の2点が中央展に進むこととなりました。



日本科学未来館研修

9月19日(水)、1年生理数科の生徒が日本科学未来館研修に行ってきました。生徒は①指定された科学技術について、「2035年の自分達との関係性を考えるワーク」、②展示から自由に選んだ科学技術について、「2035年に同窓会で自分達が再会したとき、どんな会話をするか3分の劇を作って発表するワーク」の2つを実施しました。

夏休みの理数科合宿の中でワークショップを事前学習していたので、その分展示の見学と発表準備の時間を多く取ることができました。その結果、生徒が作ったオリジナルの劇は笑いの要素がふんだんに入りつつも、先端科学技術が社会に与える影響が論理的に考えられた、非常に濃い内容のものとなりました。

